

令和8年4月
宗像市に
開校予定

福岡県立 宗像特別支援学校(仮称)



<鳥瞰イメージ図>

対象障がい種

知的障がい

設置学部

小学部・中学部・高等部

福岡県教育委員会

設立の趣旨

宗像市に県立特別支援学校を設置し、専門的な知的障がい教育を受ける機会を確保します。併せて地域における特別支援教育の拠点として、地域や福岡教育大学との連携により、教育を通じた共生社会の実現を目指します。

学校の特徴

- 個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づく、児童生徒の教育的ニーズに応じた教育
- 宗像市、福岡教育大学をはじめ、地域の教育資源を生かした社会に開かれた教育活動の推進
- インクルーシブセンター(地域連携室)を活用した特別支援教育のセンター的機能の充実
- 地域の小中学校等との交流及び共同学習の推進

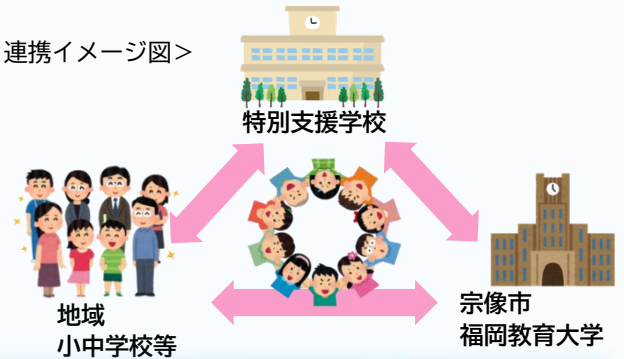
学校概要

- ◆ 開校予定日 令和8年4月1日(予定)
- ◆ 対象障がい種 知的障がい
- ◆ 学校規模 小学部・中学部・高等部 (62教室)
- ◆ 通学区域(予定) 宗像市、福津市、中間市、岡垣町
遠賀町、水巻町、芦屋町

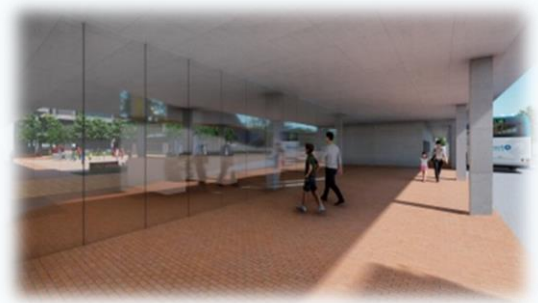
児童生徒の受入

- 小学部・中学部については、開校年度から全学年で児童生徒を受け入れます。
- 高等部については、開校年度から学年進行により生徒を受け入れます。

<連携イメージ図>



<むなかたのもり(中庭)イメージ図>



<児童生徒昇降口イメージ図>



<外観イメージ図>

教育課程

- 知的障がいのある児童生徒の特性に応じた教育課程を編成し、教育活動を行います。
- 知的障がい単一障がい学級(一般学級)と、重複障がい学級(重複学級)を編制します。
- 通学して教育を受けることが困難な児童生徒に対し、教員が家庭等に訪問して授業を行います。(訪問教育)



<体育館前廊下・中庭イメージ図>

施設等の特徴

- 児童生徒同士の関わりや地域とのつながりを創り出すことで、成長を促す施設
- 広場や教室が体育館の周りに配置された開放的な設計で、児童生徒の自立を促す教育環境
- ピクトグラムや分かりやすい文字表示による児童生徒が理解しやすい空間
- 児童生徒の障がいの特性を考慮した多目的な空間を複数設置

多目的ホール	交流及び共同学習や集会活動等、多目的に活用できるスペースを設置
体育館	温かい雰囲気の木架構づくり。授業や行事だけでなく、遊び場としても活用できる空間を学校の中心に配置
じょうやまひろば むなかたの森	開放的で多様な遊びを広げる空間を体育館を挟んで設置
メディアセンター	児童生徒がリラックスしながら、本を読んだり、パソコン学習をしたりできる部屋を設置
インクルーシブセンター	教育相談の充実や特別支援教育の担い手の育成等、特別支援教育のセンター的機能強化のために地域連携室を設置



<じょうやまひろばイメージ図>



<体育館イメージ図>

開校スケジュール

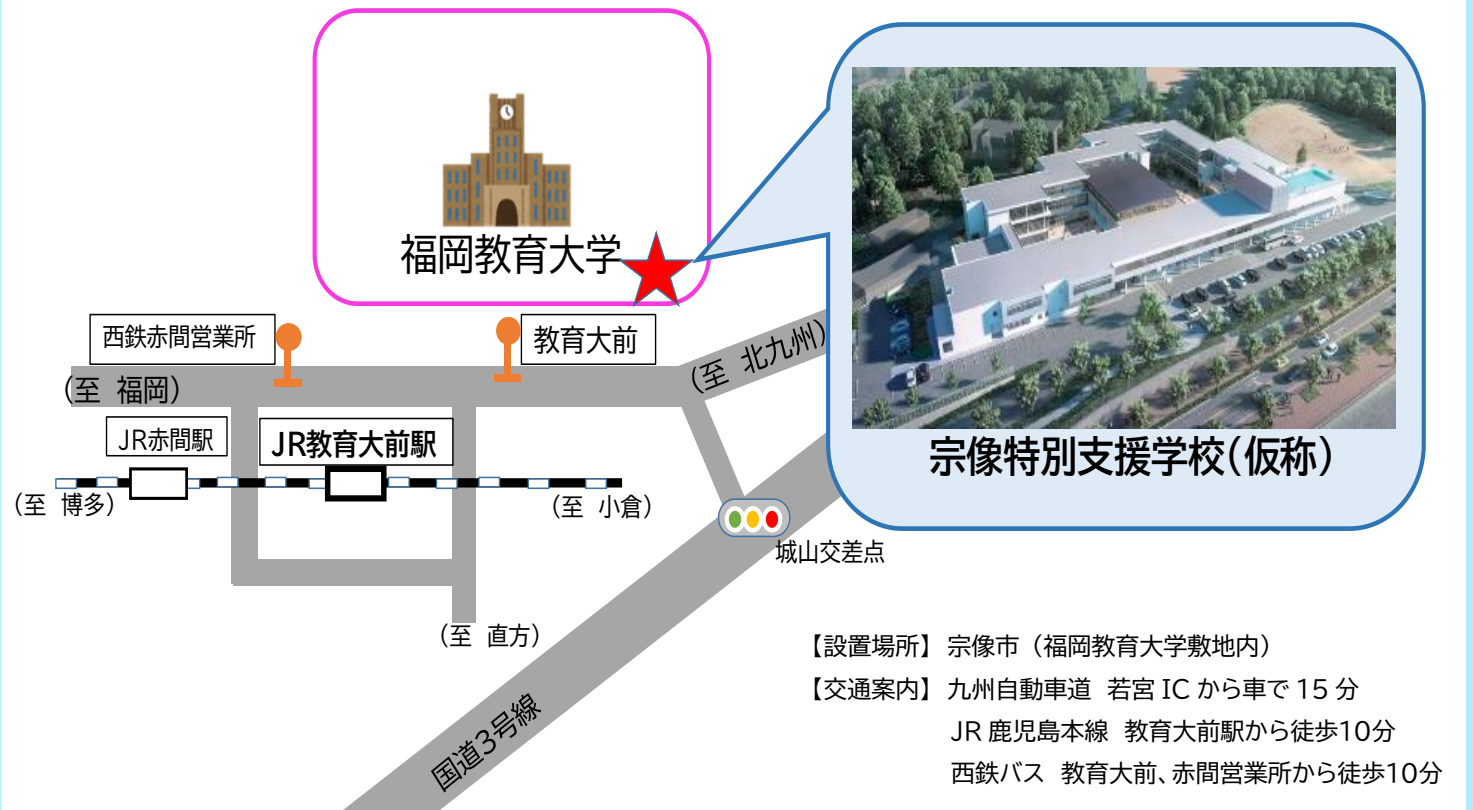
令和6年												令和7年												令和8年				
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4				
新築工事着工						新築工事																		工事竣工(予定)				開校(予定)

その他

- 通学バスを運行し、寄宿舍の設置はありません。
- 昼食は、給食です。



学校設置場所



問合せ先

福岡県教育庁教育振興部特別支援教育課
 宗像・早良地区特別支援学校新設班

〒812-8575 福岡市博多区東公園7番7号
 電話：092-643-3933 FAX：092-643-3884

